

ISO 規格最新動向

■ OHSAS18001規格改訂にともない審査説明会を開催

JQAはOHSAS18001:2007が2007年7月に発行されたことを受けて、OHSAS18001規格改訂審査説明会を2007年11月に東京、名古屋、大阪の3都市で開催し、JQAのOHSAS主任審査員である林寛二が、OHSAS18001規格改訂のポイントと移行審査の進め方を中心に説明を行いました。説明会には、各会場ともOHSAS18001登録企業の方だけではなく、OHSAS18001の登録に興味を持たれている企業の方も多く参加いただきました。

OHSAS18001:2007の規格改訂の趣旨と主な規格改訂ポイントは、OHSAS18001の序文によると次ページのとおりとなります。今回の改訂ではISO9001/ISO14001規格との両立性が配慮されており、マネジメントシステム

規格が従来よりも統合しやすくなります。

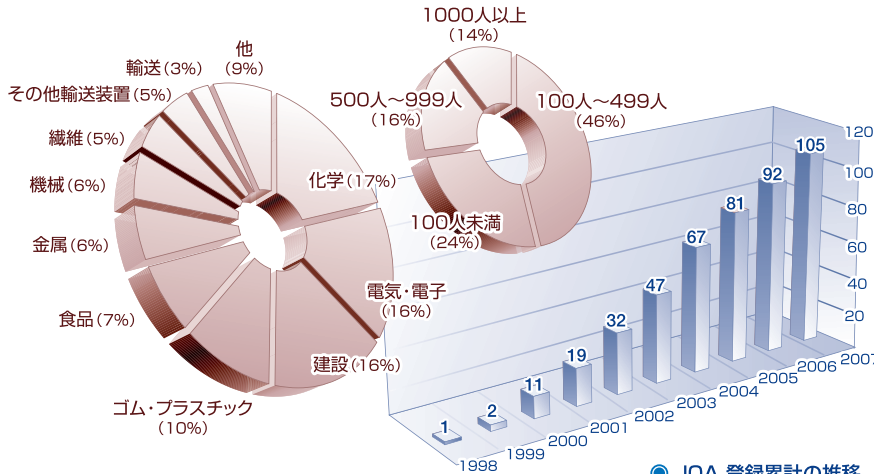
移行期限は2009年7月1日までとされていますので、OHSAS18001:1999でのご登録の場合は、期限内での移行を完了していただくようお願いいたします。



■ OHSAS18001 とは

OHSAS18001 とは、国際的にもっとも広く認められている労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格です。OHSAS18001 は、従業員を含むステークホルダーの業務上の労働安全と衛生に関するリスクを適切に分析・管理し、労働安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善することで、労働災害発生の可能性や、それに伴う経営リスクを低減するためのマネジメントシステムです。

● JQA OHSAS登録企業内訳



OHSAS18001 を導入することにより、労働災害リスクの低減による従業員の満足度やモチベーションの向上、良好な職場環境づくりを可能にするだけでなく、健全な組織経営の実現と社会的信頼の獲得につながり、企業価値を高めることができます。また近年取引条件になっているなど、OHSAS18001 への市場からの注目度も増えています。OHSAS18001 を取得することで、法的規制への準拠が実証でき、また損害賠償責任保

険の加入費削減などが可能になる場合もあります。

OHSAS18001 は労働災害リスクの高い製造業や建設業はもちろんのこと、どのような業種においても取り組むことが可能で、また組織の規模も関係ありません(左グラフ参照)。

2007年の改訂により、OHSAS18001はISO9001やISO14001マネジメントシステムと統合運用しやすくなり、これから最も注目される規格のひとつになることが期待されます。

● JQA 登録累計の推移

■ OHSAS18001 規格改訂のポイント

- OHSAS18001 の第 2 版は、初版の明確化に焦点を合わせた。
- 多数にわたる利用者のために、ISO9001/ISO14001 規格に十分に配慮して 3 つの規格の両立性を高めている。
- 労働安全衛生審査シリーズ(OHSAS)規格ならびに付随する OHSAS18002 (OHSAS18001 の実施のための指針) は、労働安全衛生マネジメントシステムの審査証明書として認知できる規格を求める(強い)要請に応じて開発された。
- OHSAS18001 は必要があれば、品質、環境、労働安全衛生マネジメントシステムが統合運用することができるよう、ISO9001 (品質)および ISO14001 (環境) マネジメントシステムの規格との両立性に配慮されて開発されている。

■ お問い合わせ先 OHSAS18001 に関するお問い合わせは、JQA サービス支援担当または下記までお願いいたします。

推進センター TEL 03-6212-9555
ISO 関西支部 TEL 06-6393-9063
ISO 中部支部 TEL 052-533-9221

■ ISO9001追補(DIS)策定

国際標準化機構(ISO)の品質管理と品質保証の技術委員会であるTC176で、品質マネジメントシステム規格ISO9001:2000の改訂作業が進められ、2007年9月にISO9001の追補のDIS(Draft International Standard)が策定されました。

改訂内容は、前回の2000年版への改訂のような要求事項の追加や変更といった大きな変更は行わず、追補のみにとどめられ(*)、大きな変更は次回2012年以降の改訂時に検討を行う予定となりました。したがって、今回の追補策定による組織のQMS構築・運用には大きな影響はありません(DIS時点)。

JQAは今後もISO9001追補策定に伴う審査方法についての影響、お客さまが行うべき準備や対応についてJQAホームページ等でお知らせいたします。

またISO9001の追補策定以降も、ISO9001とISO14001については規格の両立性、整合性の向上を図っていくことが当面の作業となり、次回2012年以降に同時改訂を実施することをめざして検討作業が進められています。

*DISでは序文の一部が変更されましたが、これは"Output Matters(適合した製品を一貫して提供するためのQMS)"の意図を強調するための変更です。

■ 追補の目的

- ・ 規格要求事項の明確化
- ・ 規格解釈の際に公式解釈を必要とするような曖昧さの除去
- ・ ISO14001:2004との整合性の向上

[ISO9004 および ISO9000 の改訂について]

ISO9004:2000についてもISO9001と同じISO/TC176において、組織が持続可能な成功を達成するための指針として大幅な改訂が進められています。当初ISO9004はISO9001と同時期発行が予定されていましたが、改訂作業の遅れによって、2009年8月のIS発行予定となり、ISO9001との同時期発行ができなくなりました。その影響で、ISO9000:2005の改訂もISO9004の発行を待ってからとなり、2009年8月以降のIS発行が予定されています。

● ISとして発行されるまでの予定

2007年9月

ISO9001追補のDIS策定
(5カ月の回付期間)

2008年5月頃

TC176総会にて
FDIS(Final Draft International
Standard)作成
(2008年7月から2カ月の投票期間)

2008年10月

IS(International Standard)
発行予定